

WHO ファクトシート

マイセトーマ（菌腫）

Mycetoma

2018年4月25日

重要な事実

- ・マイセトーマは、皮膚、筋肉や骨に損傷を与える、皮下組織の慢性、進行性の局所破壊的な感染症である。
- ・マイセトーマは、様々な微生物が原因となる可能性があるが、たいていはバクテリアや真菌類が原因している。
- ・マイセトーマは、短い雨季と長い乾季が特長で棘の多い灌木の生育に適した熱帯や亜熱帯の環境で発生する。
- ・世界全体の疾病負担は不明であるが、アフリカ、アジア、ヨーロッパ、ラテンアメリカの各国から流行が報告されている。
- ・マイセトーマは、流行地域で患者、コミュニティ、医療サービス等に対して、医療、保健そして社会経済的に多くの不都合な結果をもたらす。
- ・流行地域に住んだり旅行する人々には、一般的に履物や衣服の着用で刺し傷を予防できるので、裸足で歩かないことを助言すべきである。

本件ファクトシートについて、厚生労働省検疫所ホームページの[こちら](#)では全文の日本語訳が公開されていますので、ご参照下さい（改定前）

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014年3月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Mycetoma

ファクトシート原文は [こちら](#)